

平成21年度実績事務事業評価シート (Aシート)

作成日：平成22年9月3日

整理番号	01-100401002-01		事業種別	一 般		事業態様	継続	
事務事業名	幼稚園管理運営事業			区分	コード	名 称		
総合計画体系	前期基本計画	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり	会計	1	一般会計	
		施策	1	子どもの心身育成と教育の充実	款	10	教育費	
					項	4	幼稚園費	
		基本事業	1	幼児教育の充実	目	1	幼稚園費	
					細目	2	幼稚園管理運営事業	
細々目	1	幼稚園管理運営事業		事務事業の根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有	学校教育法 本宮市立幼稚園条例 本宮市立幼稚園管理規則		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度 ~ 年度)				
事業概要 (事業のあらまし)	教育内容の充実と教育環境の整備に努め、市内5か所で4、5歳児を対象とした幼稚園を運営する。							
計画等での位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 前期基本計画主要事業				担当部課等	教育部		幼保学校課
	<input type="checkbox"/> 自主的財政健全化計画 基本計画・構想・新規事業				担当係	幼保教育係		記入者 大越理津子
	<input type="checkbox"/> 平成21年度重点事業				一次評価者 (課長等名)	渡辺豊和		

1 行動方針 (PLAN)

事業目的	対象 (誰を、何を)	公立の幼稚園					
	意図→目指す成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	幼稚園教育の内容の充実と教育環境の整備を図る。	→	区分	指標名	単位	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	入園決定→クラス編成・教員配置・保育料収納管理→教育課程に基づく保育指導・幼児期の特性に即した環境の提供	→	区分	指標名	単位		
		活動指標	年齢別研修会	回			
				幼稚園管理に係る園児一人当たりの額	円		
				公立幼稚園児数 (5月1日現在)	人		

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

区分	年度	平成20年度 (決算)		平成21年度 (決算)		平成22年度 (決算)	
		経費	金額	経費	金額	経費	金額
直接事業費			(千円)		(千円)		(千円)
	報酬		600				
	共済費		1,285	共済費	1,682		
	賃金		9,035	賃金	12,269		
	需用費		4,379	需用費	4,752		
	役務費		328	役務費	307		
	委託料		568	委託料	766		
	使用料及び賃借料		810	使用料及び賃借料	911		
	備品購入費		330	備品購入費	2,478		
	①事業費計		17,335	①事業費計	23,165	①事業費計	
人件費	②人数 (年)		14.50	②人数 (年)	14.50	②人数 (年)	
	③平均人件費		8,608	③平均人件費	8,375	③平均人件費	
	④=②×③		124,816	④=②×③	121,438	④=②×③	
	総事業費 ①+④		142,151		144,603		
財源内訳	国庫支出金		154	国庫支出金	268		
	県支出金			県支出金			
	使用料及び手数料		14,022	使用料及び手数料	15,527		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
一般財源		127,975	一般財源	128,808			

○事務事業の実績

活動指標	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
		公立幼稚園児数 (5月1日現在)	人	307	353	355

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	年齢別研修会	回	5	5	5	5
	幼稚園管理に係る園児一人当たりの額	円	56,400	65,600	65,000	65,000

3 評価 (CHECK)

【1次評価】

項目	区分	選択理由の説明	項目評価
目的 妥当性	1 意図が政策・施策体系と結びついているか？ <input type="checkbox"/> 結びつかない <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	⇒ 幼稚園の運営は幼児教室の充実に直結する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 市が行うべき（関与すべき）事業か？ <input checked="" type="checkbox"/> 行う必要がある <input type="checkbox"/> 行う必要がない	⇒ 子育て世帯への支援のため、保護者負担の軽減も必要である。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
有効性	1 目的を達成するための手段（実施方法）は有効か？ <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> やや有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	⇒ 幼児教育の充実を図るためには必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 成果指標の目標値の達成状況は？ <input checked="" type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> やや順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない	⇒ 定期的な研修の開催により、積極的に参加し幼児教育に生かすことができた。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
効率性	1 投入した事業費又は人員に見合った効果は得られているか？ <input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> やや得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない	⇒ 幼児期から小学校へのスムーズな移行が図られ、目標とする効果は得られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 効率的な方法で実施されているか？ <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> やや実施されていない <input type="checkbox"/> 実施されていない	⇒ 1クラス35名を1教諭で担当しており、安心・安全の面からもこれ以上の経費削減は難しい。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
公平性	1 受益者の負担が適正かつ特定の個人や団体に偏っていないか？ <input type="checkbox"/> 馴染まない <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> やや適正でない <input type="checkbox"/> 適正でない	⇒ 施設維持管理や消耗品の負担が主であるため、利用者に対しては公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切

【2次評価】

全体評価	意見
<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切	

4 評価による行動 (ACTION)

	【1次評価】	【2次評価】
	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
20年度	方向性に対する取り組み（課題と解決方法等） 地区により就園の機会の不均等、保護者負担の格差があり、私立幼稚園就園奨励補助金の上乗せ補助などの検討が必要である。	方向性に対する取り組み（方針の指示）
21年度	方向性に対する取り組み（課題と解決方法等） 教育課程に基づく保育指導・乳児期の特性に即した環境の提供が図られている。	方向性に対する取り組み（方針の指示）
22年度		